

玉田玉秀齋（二世）（公事） 講談作家。安政二年京都生れ、大正六年歿（一八六一—一九一七）。本名加藤萬次郎。別號放牛舎桃一、玉清、玉秀、玉麟、雪花山人等。

著書「源平盛衰記」宇治川大合戦」（盈科水哉）樋口南洋速記、明治四十二年五月十五日大阪・岡本増進堂）、「源平一の谷大合戦」（同、明治四十四年二月一日大阪・岡本増進堂）、

「源平一の谷大合戦」（同、明治四十四年二月一日大阪・岡本増進堂）、「探偵荒金花子」（山田唯夫速記、大正二年二月二十五日大阪・中川玉成堂）、「忠勇後の荒金花子」（同、大正二年二月二十五日大阪・中川玉成堂）、

「俠藝巴屋太郎」（同、大正四年八月二十五日大阪・駿々堂）、「義侠荒川群之助」（同、大正四年八月二十五日大阪・駿々堂）、

「諸國水戸黄門」（同、大正八年十月十日大阪・立川文明堂「傑作文庫」）、

「大下傑作萬千代」（同、大正九年六月十日大阪・立川文明堂「立川文庫」）、

「大下蒙傑機畑伴藏」（大正十一年二月十日大阪・立川文明堂「立川長編講談文庫」）、

「寛永御前試合」（内題「武術御前試合」大正十一年六月二十日大阪・立川文明堂「立川文庫」）、

「幕政刺青金四郎」（關世速記協會速記、大正十五年九月五日大阪・明文館「長編講談文庫」）、

「秋月隼人」（昭和四年二月五日大阪・近代文藝社）等。